

令和4年度 第2回学校運営協議会（記録）

日 時 令和4年10月28日（金） 14：00～16：00
場 所 大阪府立堺上高等学校 校長室

出席者	【委 員】	会 長：比嘉 悟	桃山学院教育大学副学長
		委 員：阪本 拓也	堺市立福泉上小学校校長
		委 員：中尾 友彦	中尾食品工業株式会社代表取締役社長
		委 員：岩本 吉伸	堺上高等学校PTA会長
	【事務局】	校 長：中川 明子	
		教 頭：大窪 成人	
		事務長：中田 博之	
		首 席：澤山 紀子	（生徒会部長）
		首 席：藤田 祥弘	（1年学年主任）
		教 諭：瀬角 明宏	（教務部長）
		教 諭：菅 直美	（進路部長）
		教 諭：北野 謙悟	（生徒指導部長）
		教 諭：平井 栄一	（総務部長）
		教 諭：徳庄 正幸	（保健部長）
		教 諭：利光 はるみ	（教育情報部長）
		教 諭：小田原 剛	（2年学年主任）
		教 諭：北 晃	（3年学年主任）

内容

1. 開会の挨拶【校長】

行動規制がやわらぎ、予定通り行事を実施することができています。今日は取組みの進捗状況をご報告させていただくとともに、スクールミッションの内容についてご意見をお聞かせいただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

2. 報告

（1）学校経営計画の進捗状況について【校長】

①達成感を持たせ積極的な学びを引き出すために、ICTを活用した授業づくりを進めています。7月に実施した第1回授業アンケートの結果がでました。ここ数年、生徒の授業に関する満足度は上昇傾向にあります。生徒1人1台端末を活用しながら、これまでの一斉学習に個別学習及び協働学習を組み入れながら、主体的で対話的で深い学びの実現をめざしています。

②3年生の学校幹旋就職の1次結果がでました。1次内定率86.2%とここ数年で最も良い結果となりました。不合格だった生徒に関しては次の企業を紹介しながら内定をめざし、11年続く内定100%を更新したいと思っています。また、公務員試験1次を複数の生徒が合格しています。2次の結果が楽しみです。

③9月の文化祭では3年ぶりに保護者の方に参加していただきました。PTA模擬店を開催し、大いに文化祭を盛り上げていただきました。行事は社会性や人間性を育むことのできる貴重な機会です。無事開催できてよかったと思っています。中学校との連携では、本校主催の「堺上高杯」を組織的に開催しております。中学生を招待して本校生徒が受付・審判などを行います。マネジメント力や自己肯定感を育むことができ、本校生徒にとっても実り多い取組みとなっています。6月に女子バレーボール・男子バスケット、8月にサッカー・女子ソフトテニスの部を開催し、31校約600名の中学生が参加してくれました。

（2）スクールミッションの策定と内容について【校長】

学校教育法施行規則の一部が改正されたことを受けて、各高校のミッション及びポリシーの策定を今年から来年にかけて行うことになりました。ついては各校で案を作成し、これを基に教育庁で各学校の生徒や地域の状況を踏まえ策定する流れになっています。

本日、本校のミッションを案としてお示ししております。夏以降、学校教育計画や経営計画、学校説明会で使っていたパンフレットやフレーズなども参考にしながら、うちの学校にぴったりくるような言葉に落とし込んでいきました。「叡智創造を校訓として、生きて働く知識や教養を身に付け、自他を尊重し、他者と協働しながら自立して生きていく力「人間力」を身に付け、よりよい社会の創り手を育成する」というフレーズに落とし込んでいます。3つのポリシーについても資質能力を明記する形で今後検討していく予定です。

会長：スクールミッションとポリシーという部分で説明をいただきました。ここでご意見をいただけたらと思います。いかがでしょうか。

委員：スクールミッションは運営する学校側の使命ということですね。教員のみなさんが体現者として動くわけですから、わかりやすいものが良いだろうと思います。

委員：今の上高の生徒さんの実態をわかっていらっしゃるの先生方やと思っています。上高の実態を踏まえて、きちっと言葉を入れておられるかなと思います。教育の目標は自己実現だと思いますので、とてもいいかと思いました。学校全体でそれを統一し、めざしているということが大事なことかと思っています。文言自体はとてもわかりやすいかなと思って読ませてもらいました。

会長：非常に簡潔にまとめておられます。全体で共有して実現していくということが一番大事かと思っています。

(3) 授業研究委員会からの報告【首席】

各教科の代表者からなる委員会で、組織的な授業改善を目標にしています。週1回集まり授業についていろんなことを話し合っています。1学期は今年の1年生から観点別学習状況の評価が始まりましたので、それについての情報交換を行いました。2学期は自教科だけでなく他教科の教員の授業も見学する機会を設け、研究授業という形で授業を公開しました。協調学習のジグソー法・ICT機器を用いた授業などをテーマに互見授業を通して同僚性を活かした授業改善を進めています。生徒もすごく元気よく授業を受けているという印象です。

(4) 観点別学習状況の評価について【教務部長】

新1年生から観点別学習状況の評価という新しい評価方法が導入されました。①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③主体的に学習に取り組む態度、の3つの観点を軸に生徒の資質能力を育成することを目標に指導を行い評価します。先ほどの授業研究委員会からもありましたが、新しい評価の導入の肝はまさしく授業をどのように改善していくべきかといったことにあると思います。どういった成果があり課題は何かといったことはまだ明確ではありませんが、生徒の取組みも少しずつ変わってきているのではないかなと感じております。

会長：教え方やテスト問題も工夫が必要になってきますね。日本の国が変わろうとしているところだと思います。子どもたちの求められる資質や能力が変化しています。大変だと思いますけれど、当然、教員も変わらなければならないでしょう。

委員：観点別評価については、中学校ではだいぶ定着してきました。ただ、授業も変えていく必要があります。一方的に知識を押し込むだけではなく、普段の授業の中でワークシートに自分の意見をかかせるなど、アウトプットの取組みが求められていると思います。

委員：観点別というのは定性評価の部分を評価してあげようよというところだと思います。会社で言うと銀行とのやり取りかなと。例えばメガバンクだったら会社の売り上げといった定量評価に重きをおきますが、地銀とか信用金庫は、地元根差したところがあるので定性評価を評価基準としています。業績をこれから上げようとしている会社だと、気持ちとか勢いとか、姿勢を評価してもらわないとつらいところがあります。そういう意味で、先生方は生徒

とコミュニケーションをより増やさないと評価しにくいだろうなと思いました。毎回とはいえないとは思いますがきちんと評価するということであろうと生徒のアウトプットを促す取組みを授業の中で取り入れていくのがいいのかなと思いました。

校長：3年生で「新聞」を活用した授業を先日見学しました。授業者は、読む力、まとめる力、発表する力の育成を目標として授業実践をしていました。生徒は自分の気になる記事を読み、なぜ気になるのか、何を伝えたいのか、言いたいことは何かっていうことを、自分なりにまとめ3分のスピーチを行います。評価基準を事前に提示し、互いの発表を生徒自身が相互評価します。生徒たちの発表が素晴らしくディベート活動もできるのでは、と思った次第です。

委員：とてもいい取組みですね。うちの新入社員もそれをやっています。新聞記事を読んで何が気になるとか、それを見てどう思ったとか、リアルでは難しいので紙で書かせてアウトプットしてもらっています。社員の意外な一面がわかるし、それをきっかけにコミュニケーションをとるようにしています。

(5) ICT機器の活用状況について【教育情報部長】

令和2年の9月に生徒1人1台端末が貸与されて2年が経ちました。3年間貸与するという形をとっておりますので、昨年度の卒業生の分を今の1年生が使っています。この2年間、かなりのスピードでICTのツールが導入されました。校内にWifiも整備され、いろんなところで使用できるようになっております。教員も新しいことに取り組み、活用が広がっています。生徒・保護者も一人ずつIDとパスワードを持っており、大阪府で導入されたグループウェア等を活用することで学校全体のコミュニケーションを図れるようになっていきます。授業で活用すると同時に、業務の効率化も図っています。例えば、学習支援クラウドサービスを活用して教科の連絡や、簡単なテストをするなどもしています。ループリックを作ることできるようになっていまして、自己評価までできるようになっています。教室ではパソコンの画面を投影して、黒板を書く時間を節約して授業を進めることや、ファイルを共有して生徒の意見をまとめて見せるという活用をしている教員もいます。自宅でも見ることができますし、遠隔地でもWifiが飛んでいればどこでも勉強できるという形になっています。

ICTの活用能力と生徒の意欲の向上のために1年生はタイピング大会を計画しています。前回の協議会で意見を頂戴し、実施することにしました。生徒はすごく楽しみにして一生懸命練習しております。練習するとどんどん上がってきますので、生徒も頑張るわ、と言ってやっております。保護者にもアカウントを配布しておりますので、メールで行事の連絡などもできています。これまでは有料のメールングリストを活用していましたが、府管轄のクラウドサービスに移行しました。教員サイドでは、会議室にもプロジェクターやスクリーンを設置して、研修や会議で活用しています。昨年度はWeb会議システムを使ってオンラインで研修をしました。オンデマンドでもさせていただき、後で見ることもでき好評でした。また、教員の働き方改革の一助になればということで、採点ツールをお試しの段階段ですけれども、試行しております。マークシートの問題だけでなく、記述の問題もまとめて採点ができます。正確にできることや、省力化につながるということが実証できれば、本格的に導入を検討したいなと思っております。ICTの環境はこれからも変化していくと思っていますので、よく勉強して進めていきたいと思っています。

(6) 1年の状況について【1学年主任】

2学期の中間考査から1週間ほど経ち、全教科の考査結果が返却されたところです。生徒は元気に日々をすごしていますが、欠席や遅刻が増えてきたのが気になります。保護者とも連絡を密に取りながら、基本的生活習慣の確立に向けて個々の状況に応じた面談も行っていこうと思っています。

す。2学期は芸術鑑賞、スポーツ大会、タイピング大会と初めて経験する行事があります。楽しく学校生活を送れるよう、学年団で工夫をしながら教育活動を行っていきたいです。

(7) 2年の状況について【2学年主任】

2年生は、進路の方向性を決める時期ということで、進路指導部とタイアップしまして、夏休みに「オープンキャンパスに行く」という課題を出しました。また、求人票の見方や自分の就きたい職種を学ぶ機会を設けるなど、自分の進路を考えていく仕掛けづくりをしているところです。今年は、多くの地域で祭りがあります。夜遅くなり生活の乱れを心配していましたが、生徒のやりたいことは応援してあげたいという思いもありますので、学校生活をきちんと送るように声掛けをしてきました。11月には沖縄方面へ修学旅行に行きます。東村という大自然がのこる地域で民泊を2泊、マリン体験でホテル泊1泊の3泊4日で進めております。コロナ禍ということもありますので保険についても案内をしながら進めています。

(8) 3年の状況について【3学年主任】

残すところ登校日数が60日程度になりました。8割の生徒は進路が決定しております。就職試験1次の内定率も近年の中では高い数字と思っております。指定校で四大に行く生徒が30~40名、一般入試を見据えて受験勉強に取り組んでいる者は5名程度います。この生徒たちは受験対策講習として2年生から取り組んでいますので、いい結果を残していったほしいなと思っています。あと、公務員試験1次試験突破している者が数名おります。警察・消防・自衛官・行政職員など2次の結果を待っているところです。

(9) 進路指導について【進路部長】

3年生の進路の中間報告をさせていただきます。今年度の学校斡旋就職1次内定率は86.2%でした。事務職については厳しい結果が出たものの昨年度は81.3%でしたから、生徒たちはよく健闘したと思います。今年度より複数応募制がスタートしました。複数応募可としているところを受験している生徒が数名おり、大学生のような厳しい結果になるのではと思ったのですが、無事に内定を頂いております。サービスと現業の求人票数は回復しましたが、事務と営業販売の数は少なく、今後も厳しい状況として結果にも影響すると思われます。続いて、公務員についてですが、1次試験に合格した生徒が複数名おります。このうち2名は、2年生の早いうちから公務員講座を受講し意識の高い生徒でした。進学については、現在、指定校推薦で進学を進めているものは33名、昨年度は57名おりましたので、数が減ったように感じますが、AO入試や公募制・一般入試の生徒が増えてきているので、その影響もあって指定校推薦が減っているのではないかと思います。最後に奨学金についてです。146名の申込みがあり、進学する多くの生徒が予約奨学金を利用しているという状況です。

(10) 40周年記念事業について【総務部長】

来年度、40周年記念事業といたしましてフェニーチェ堺を会場に、11月17日午後から式典を開催します。その後、芸術鑑賞会、同窓会総会も開催予定です。

3. 協議

会長：学校の現状や学校経営計画の進捗状況等の報告がありました。学校へのご意見やご提言など、ございますか。

委員：学校経営計画の確かな学力の定着の項目ですが、学校教育自己診断の肯定的な回答が、元年度に比べて20ポイント以上増えています。これはどんな取組みが、生きてきたと分析されていますでしょうか。参考までに教えていただきたいと思います。

校長：授業改善は学校改善だという思いで取り組んできました。特にICTを活用した工夫ある授業づくりを推進してきました。プロジェクターや暗幕カーテンの設置、生徒だけでなく教職員1人1台の端末などの環境整備を行いました。教育情報部と授業研究委員会を新設し、研修や研究授業を行う中で、多くの教員がICTを活用して工夫のある授業実践に取り組むことができるようになったのが大きいかと思います。授業研究委員会は週1回開催し、ICTの活用と観点別学習状況評価をテーマにこの2年間授業改善に取り組んできました。授業をより良いものにしていこうという文化が徐々に育まれていった感じがしています。

首席：昨年度から授業研究委員会を毎週水曜日開催し、学年や教科を越えて授業について課題を共有し、そこで出た意見を、職員会議で全教職員に共有するということをしてきました。何気ない会議での発話を聞いて、ヒントや気づきにつながったのではないかなと思っています。そうやって少しずつ広がっていったような気がします。工夫をしながら授業を行い、それを生徒たちが、ちゃんと感じ取ってくれたのかなと思います。

会長：学年を超えて授業に関して話すことでいい交流が生まれ、同僚性をいかした授業改善に結びついてきたのかなと思います。先ほどのスクールミッションにもありましたが、教員がまとまってやっていくことが、よりよい学校に変わっていけるポイントかなと思いました。新しい学習評価も導入され大変な中だと思いますが、教師も学ぶチャンスと捉えて頑張っていたいただきたいです。

4. 閉会の挨拶【校長】

貴重なご意見を頂戴しました。スクールミッションにつきましては、お示ししました内容を案として提出し、今後、このミッションを実現するにはどんな資質能力を育成していくのかを具体的に言語化してまいりたいと思います。本日は誠にありがとうございました。